

序

本レポートは、平成 24 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「認知症国家戦略の国際動向とそれに基づくサービスモデルの国際比較研究」の一環として、公益財団法人東京都医学総合研究所の主催により、平成 25 年 1 月 30 日に開催された「認知症国家戦略に関する国際政策会議」の討議内容を編集したものである。

同会議では、イギリス、フランス、オーストラリア、オランダ、デンマークから招聘した各国の認知症国家戦略の策定に関わった専門家ら 7 名と、本事業の研究班関係者、厚生労働省ならびに東京都福祉保健局の関連政策部局関係者らによる認知症政策の個別課題に関する集中討議を行った。すでに認知症国家戦略を推し進めている各国の関係者が一堂に会して、認知症政策の重要な個別課題ごとに各国の推進状況を議論するという貴重な機会を実現することができ、その内容は、今後の我が国の認知症政策を進める上でもきわめて有益かつ示唆に富むものである。

なお同会議の前日（平成 25 年 1 月 29 日）に開催された「認知症国家戦略に関する国際政策シンポジウム」では各国の認知症国家戦略の概要について報告がなされた。その詳細な内容は、事業報告書の一章として東京都医学総合研究所ウェブサイト上（下記 URL）に公開済みであり、本レポートと合わせて是非ご参考にしていただければ幸いである。

(http://www.igakuken.or.jp/research/gakujutsu_syukai/g_syukai130129/pdf/03.pdf)